

受領No.1570

倫理委員会と研究者の視点から見直す 非医学系研究の倫理審査のアウトライン

代表研究者 渡邊 卓也 京都大学医学部附属病院 特定講師
共同研究者 森 拓也 京都大学医学部附属病院 特定助教



Outlines for ethical review of non-medical research consider from the perspective of Research Ethics Committees and researchers

Representative Takuya Watanabe, Kyoto University Hospital, Program-Specific Senior Lecturer
Collaborator Takuya Mori, Kyoto University Hospital, Program-Specific Assistant Professor

研究概要

現在、わが国で実施される医学系研究については、法令（たとえば、臨床研究法）や倫理指針（たとえば、人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針）といった研究倫理に係る行政主導の研究規制が施行されており、そうした事情を背景に、当該各種規制に適合した研究を推進するための研究倫理支援サービス（倫理審査と、その前段機能にあたる研究倫理コンサルテーション）が展開されている。その一方で、非医学系研究については、医学系研究とは異なり行政による研究規制のような統一のルール（倫理委員会と研究者が共用する公知の拠りどころ）が存在しない中で倫理審査が行われている。すなわち、統一のルールがないことで、必然的に倫理委員会ごとに審査の質に大きなばらつきが生じ得るという課題が存在している。そこで本研究では、非医学系研究の倫理審査の内実を明らかにし、その課題や改善策を検討するとともに、研究倫理支援サービス（倫理審査と、その前段機能にあたる研究倫理コンサルテーション）に係る研究者ニーズを明らかにすることで、非医学系研究の倫理審査の質の向上に資する枠組みを検討する。